



健康寿命日本一を目指す

主担当部局：健康福祉部



「がん検診を受けよう!」奈良県民会議の街頭啓発

目指す姿

県民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしながら、要介護となる人や若くして亡くなる人を減らし、健康寿命の延長が図られる健康長寿県を目指します。



●平成34年度までに、**県民の健康寿命** (65歳平均自立期間) を男女とも

●**65歳未満の死亡率**を平成34年度までに、

●平成29年度までに**65～74歳の要介護認定者の割合**を

日本一

にします。

(平成24年 男性: 5位、女性: 19位)

男性: 193人

女性: 103人

(人口10万人当たり)

以下に減らします。

(平成23年男性216.3人、女性115.6人(人口10万人当たり))

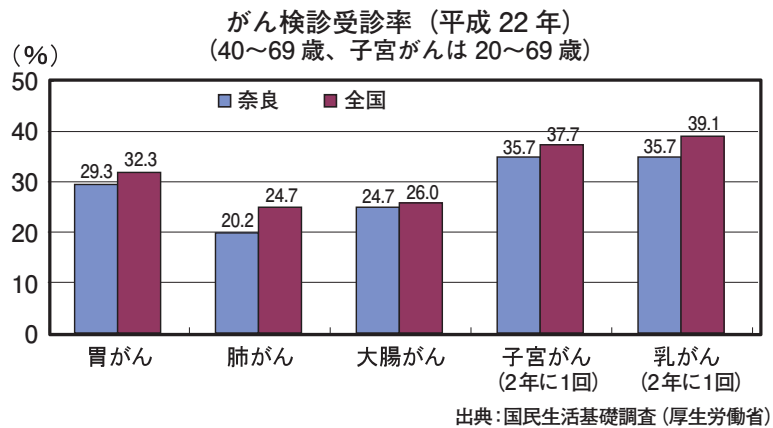
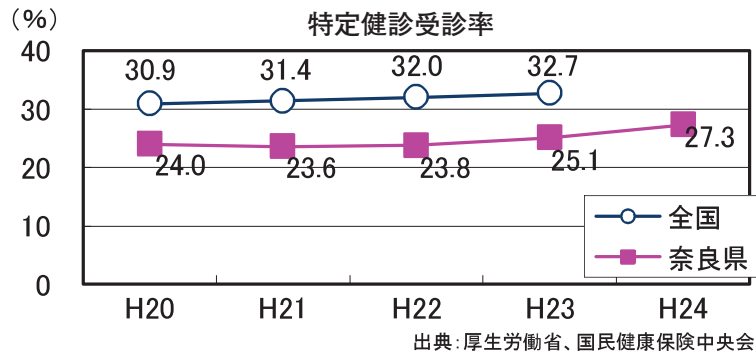
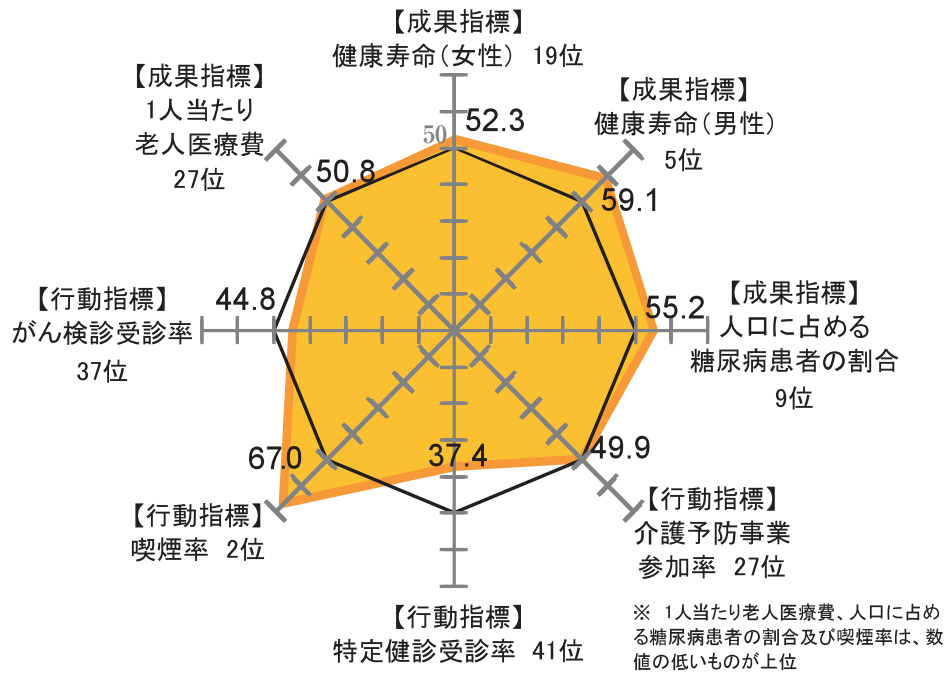
3.8%

に減少させます。

(平成23年度: 4.0%)

分析

■ 主な指標



■ 介護予防事業参加率は、8.02%で全国平均(8.04%)とほぼ同程度となっています。

■ 特定健診受診率は、上昇傾向にありますが、全国に比べると低くなっています。

■ がん検診受診率は、5つのがんについて、全て全国に比べて低くなっています。

戦略 1

健康寿命日本一を達成するため、予防（保健）、治療（医療）、回復（介護・福祉）の連動した取り組みを進めます。

主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

目標

- ▶ **地域の総合医等と健康づくりボランティアの協働による、地域ぐるみの健康づくりの取り組みを平成26年度までに県内の半数以上の市町村で実施します。**（平成24年度：4市町村）
- ▶ **自宅での死亡割合を平成29年までに1ポイント高めます。**（平成23年：17.2%（全国第1位））

取り組み

健康寿命の延長に寄与する健康行動の効果的な普及

健康寿命の延長に関係する健康指標の市町村別把握と評価の実施

健康的な生活習慣の普及啓発と地域ぐるみで取り組む健康づくりの推進

がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進

がん患者、精神疾患患者、認知症高齢者への対応、家族への支援・相談体制の充実

在宅医療、在宅介護を進めるシステムづくり

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
健康寿命の延長に寄与する健康行動の効果的な普及				
◎健康寿命延長に寄与する効果的な対策の推進	研究		数市町村でモデル実施	
健康寿命の延長に関係する健康指標の市町村別把握と評価の実施				
◎市町村別健康関連データの作成		状況把握・作成・公表		
健康的な生活習慣の普及啓発と地域ぐるみで取り組む健康づくりの推進				
◎地域の専門職、ボランティア等が協働して行う健康づくりの取組の推進		普及・実施		
◎健康長寿をめざす食育の推進（健康減塩食プロジェクト）	健康減塩食の普及方法の検討		モデル市町村での実施	
◎歯と口腔の健康づくり思想の普及		県計画に基づく施策の実施、拡大		
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進				
◎専門的医療を提供する体制の強化		協働、推進		
◎糖尿病診療に関する専門医とかかりつけ医（非専門医）との連携		検討、協働、推進		
◎脳卒中、急性心筋梗塞等における役割分担、連携ネットワークの推進		地域連携バス確立		
がん患者、精神疾患患者、認知症高齢者への対応、家族への支援・相談体制の充実				
◎相談支援機能の強化		実施		
◎地域で取り組む認知症介護の支援	家族支援の実施	検証・見直し	家族支援の実施	
◎在宅療養におけるレスパイト支援体制の充実	実態把握	モデル実施・評価・検証（2モデル/年）		
在宅医療、在宅介護を進めるシステムづくり				
◎市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援	実施、検証・見直し		市町村支援の実施	

戦略2

健康づくりに取り組む人を増やし、要介護状態になる人を減らします。

主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

目標

- ▶ **毎日野菜を食べる、よく寝るようにしているなど、健康づくりのための取り組みがある人の割合を、平成29年度までに男女とも40%以上にします。**
(平成23年：20歳以上男性 35.7%、20歳以上女性 36.9%)
- ▶ **生活習慣病予防等を進めるため、平成34年度までに、運動習慣を持つ青壮年期(20～64歳)の県民を男性42.0%、女性39.0%以上に増やすなど、ライフステージに応じた健康的な生活習慣を実践する人を増やします。**
(平成23年 男性31.2%、女性：28.7%)
- ▶ **県民の健康づくりを支援する地域の健康づくり拠点を平成27年度までに設置します。**

取り組み

無理なく健康づくりを実践するための地域の健康づくり拠点の整備

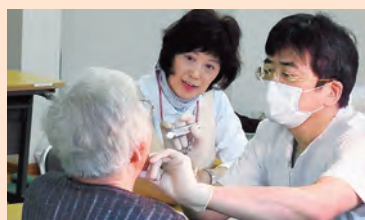
健康的な生活習慣の普及啓発と地域ぐるみで取り組む健康づくりの推進(再掲)

行政、保険者、企業等の連携による健康づくりの推進

県・後期高齢者医療広域連合の共同実施による高齢者の健康づくりの推進



とっておき健康セミナー



健康長寿共同事業実行委員会

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
無理なく健康づくりを実践するための地域の健康づくり拠点の整備				
◎健康ステーション設置促進	1ヵ所設置	2ヵ所目設置	充実実施	市町村での設置検討
◎活動量計を使った健康づくりの推進	取組開始	取組継続・結果の分析公表	取組継続	結果の分析公表
◎スマホを活用した健康づくりの検討と実施		実態調査・取組の検討		事業展開
健康的な生活習慣の普及啓発と地域ぐるみで取り組む健康づくりの推進(再掲)				
◎地域の専門職、ボランティア等が協働して行う健康づくりの取組の推進		普及・実施		
◎健康長寿をめざす食育の推進(健康減塩食プロジェクト)		健康減塩食の普及方法の検討		モデル市町村での実施
◎歯と口腔の健康づくり思想の普及			県計画に基づく施策の実施、拡大	
行政、保険者、企業等の連携による健康づくりの推進				
◎保険者等と連携した特定健診受診率向上策の実施			連携した事業の実施	
◎なら健康長寿基本計画に基づく健康的な生活習慣の普及	計画策定		運動、食生活、禁煙等の普及	
県・後期高齢者医療広域連合の共同実施による高齢者の健康づくりの推進				
◎市町村と連携し、口腔ケアや運動・栄養に関する指導・普及啓発及び健康づくりの取組研究の実施			取組方策研究	
			地域巡回指導・普及啓発	

戦略3

生活習慣の改善や医療体制の充実等により、65歳未満の死亡率(早世)を減らします。

主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

目標

▶平成29年までに、**がん検診受診率50%を目指します。**

(平成22年奈良県：胃がん29.3% 肺がん20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん35.7%
※子宮がんは20～69歳、他のがんは40～69歳 ※子宮、乳は過去2年の受診率)

▶平成34年度までに、**県民の成人喫煙率を9.9%に減少させます。**

(平成23年 14.2%)

取り組み

生活習慣病の早期発見・早期治療の徹底

行政、保険者、企業等の連携による健診・がん検診の推進

がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進(再掲)

たばこ対策の推進

自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成



奈良県がんと向き合う日キャンペーン



「がん検診を受けよう！」奈良県民会議総会

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
生活習慣病の早期発見・早期治療の徹底				
◎生活習慣病重症化予防のための保健指導と治療勧奨の強化	市町村共同事業開始		実施市町村拡大	
行政、保険者、企業等の連携による健診・がん検診の推進				
◎「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の活動促進		活動促進		
◎がん予防推進員の養成	1団体(県でモデル実施)	4団体(各保健所で実施)	市町村で展開	
◎がん検診コール・リコール(受診勧奨・再勧奨)事業の推進	2市(県でモデル実施)		市町村で展開	
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進(再掲)				
◎専門的医療を提供する体制の強化		協働、推進		
◎糖尿病診療に関する専門医とかかりつけ医(非専門医)との連携		検討、協働、推進		
◎脳卒中、急性心筋梗塞等における役割分担、連携ネットワークの推進		地域連携バス確立		
たばこ対策の推進				
◎未成年者禁煙支援相談窓口の設置	5ヵ所設置	継続	協力医療機関の拡大	
◎受動喫煙防止対策の推進		公共的な空間の禁煙化の実態把握及び推進		
自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成				
◎ゲートキーパーの養成と相談支援体制の充実	養成研修	指導者研修	市町村等での実践	

これまでの成果

平成25年7月に今後10年間で県民の健康寿命日本一を目指すため、「**なら健康長寿基本計画**」を策定しました。

平成25年9月に王寺町で、**がん予防推進員を59人養成**しました。

平成25年10月10日に、**がんと向き合う日街頭キャンペーンを実施**し、約100名の「がん検診を受けよう！」奈良県民会議会員が街頭啓発を行いました。

がん検診の受診率向上を目指して、**4市町**（天理市・川西町・王寺町・五條市）に**積極支援**（課題と対策の検討）しました。

平成26年1月に**健康ステーションを設置**（近鉄百貨店橿原店）しました。

未成年者禁煙支援窓口を県内5保健所（奈良市・郡山・葛城・桜井・吉野）に**設置**しました。

生駒市と葛城市をモデル市として、国立がん研究センターのノウハウを活用して、**がん検診受診勧奨・再勧奨を推進**しました。

主な指標の動き

よくなっている指標

◆男性・女性の健康寿命（65歳平均自立期間）

男性：16.79年（全国13位）[H17] → 17.62年（全国5位）[H24]
 女性：20.03年（全国33位）[H17] → 20.51年（全国19位）[H24]
 ・男性・女性ともに健康寿命は延長し、全国順位も向上しています。

◆喫煙率

24.2%（全国3位）[H16] → 18.2%（全国2位）[H22]
 ・喫煙率は減少し、全国順位も高い位置にあります。

変化が見られない指標、低下している指標

◆人口に占める糖尿病患者の割合

0.15%（全国9位）[H17] → 0.16%（全国9位）[H23]
 ・割合、順位共にほとんど変化ありませんが、全国順位は高い位置にあります。

◆1人当たり老人医療費

821千円（全国27位）[H18] → 909千円（全国27位）[H23]
 ・全国順位に変化はありませんが、金額は増加しています。

※喫煙率、人口に占める糖尿病患者の割合及び1人当たり老人医療費は、数値が低いものが上位